

Sinfonia Ainola

アイノラ交響楽団 第9回定期演奏会

Ainola Symphony Orchestra 9th Regular Concert

ジャン・シベリウス Jean Sibelius

❄ 2つの厳粛なメロディ 作品 77 ★

Two Serious Melodies, Op.77

❄ オーケストラのための3つの小品 作品 96c 騎士風ワルツ

Three Pieces for Orchestra, Op.96c Valse chevaleresque

❄ ヴァイオリン協奏曲ニ短調 作品 47 ★

Violin concerto in D minor, Op.47

❄ 交響曲第6番 作品 104

Symphony No.6, Op.104

指揮 **新田ユリ** (アイノラ交響楽団正指揮者)

ヴァイオリン独奏 (★) **佐藤 まどか**

2012年4月22日(日) 14時開演 (13時15分開場)

杉並公会堂 大ホール

JR 中央線 / 東京メトロ・丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩7分

入場料：1,500 円 (前売券 1,200 円、全席自由)

◆チケットぴあ Pコード予約 TEL:0570-02-9999 (Pコード 157-626)

◆杉並公会堂でも購入可能 TEL:03-5347-4450

主催：アイノラ交響楽団

後援：フィンランド大使館

日本シベリウス協会

社団法人 日本フィンランド協会

一般社団法人 日本フィンランド文化友好協会

協力：東京新聞

お問い合わせ

E-mail: info@ainola.jp / TEL:080-3603-3825(10:00-18:00)

公式 Web サイト :<http://www.ainola.jp/>

◆就学前のお子さまの客席への入場、同伴はご遠慮ください
◆駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください

アイノラ交響楽団 *Sinfonia Ainola*

アイノラ交響楽団は、北欧フィンランドを代表する作曲家ジャン・シベリウスの音楽をこよなく愛するアマチュア演奏家たちによって、2000年12月に設立されました。アイノラとはフィンランド語で「アイノのいる場所」という意味。シベリウスは、最愛の夫人「アイノ」の名にちなみ、ヘルシンキ近郊のヤルヴェンパーという街に構えた自邸のことをそう呼んでいました。彼は自然豊かなアイノラの地を終生愛し、そこで数々の傑作を創り上げています。

シベリウスファンにとっての聖地とも呼べる「アイノラ」の名を戴いたこのオーケストラでは、7つの交響曲はじめ数々の交響詩・音詩を含む管弦楽作品全ての演奏を目標としています。演奏会では毎回コンセプトのあるプログラムづくりを心がけ、日本では演奏される機会の少ないシベリウス以外のフィンランド人作曲家やスウェーデン、ノルウェー、デンマークやバルト諸国の作曲家の作品も積極的に取り上げています。正指揮者にはフィンランドと日本を拠点に活躍を続ける新田ユリ氏を迎え、その指導の下で、透明感のある音色や、北欧音楽特有の“語法”の表現を大切にしながら、年1度の定期演奏会に向けて練習を重ねています。

ーアイノラ交響楽団 正指揮者ー

新田 ユリ *Nitta Yuri*



撮影：落合英俊

1990年第40回ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト。1991年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。その後も国内の主要オーケストラを指揮。また東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団、東京吹奏楽団など吹奏楽での活動も行なっており、1994年にキングレコードより東京佼成ウインドオーケストラを指揮して6枚リリース。2009年10月には東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団を指揮したCDが3枚ポニーキャニオンよりリリースされた。オペラでは、横浜シティオペラ、大田区民オペラ協議会でモーツァルトの5大オペラ、「夕鶴」などを指揮。

2000年10月～2001年10月、文化庁芸術家在外研修員としてフィンランドに派遣され、音楽監督オスモ・ヴァンスカ氏のもとラハティ交響楽団で研修。フィンランド国立歌劇場とサヴォンリンナ音楽祭においても、オスモ・ヴァンスカ氏のアシスタントを務める。これまでにクオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、フィンランド国防軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ、クリスチャンサン交響楽団などフィンランドをはじめ北欧諸国へ客演を続けている。

2005年～2007年オウルンサロ音楽祭へ招聘、2006年リエクサ・プラスウィーク客演。また2006年4月にはオクタヴィア・クリストンよりヨウコ・ハルヤンネ氏（フィンランド放送交響楽団ソロ首席トランペット奏者）との共演CD＜Symbiosis＞がリリースされた。

日本シベリウス協会事務局長・理事。国立音楽大学非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師、アイノラ交響楽団正指揮者、「森と湖の詩サロンコンサート」主宰。

公式サイト「森と湖の詩」<http://www.yuri-muusikko.com>

ーヴァイオリン独奏ー

佐藤 まどか *Sato Madoka*



©BANAZO

東京藝術大学附属音楽高校、同大学、同大学院博士後期課程修了。この間イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、2005年シベリウスの研究で博士号（音楽）を取得。シベリウスのスペシャリストとして内外での注目を集めた。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、ブラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第2位（最高位）入賞、ロドルフォ・リビッツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位（1位なし）入賞。ウィーン・コンチェルトハウス、フィンランド・オウルンサロ音楽祭やシベリウス・イ・コルポ音楽祭、デグ国際現代音楽祭、ハッポマン国際現代音楽祭への出演など欧米やアジアでも活躍。シベリウス没後50周年の2007年には、フィンランド、イギリス、日本で世界初演を含む意欲的な演奏活動を展開。ALMよりシベリウスのヴァイオリン作品集vol.1「子守唄」、vol.2「ノヴェレッテ」が、BISの「シベリウス全集第6巻」に世界初録音がワールドワイドリリースされ、ともに高い評価を受ける。

ソリストとしての活動を中心として、国内外において室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を行っている。上野学園大学講師。contemporary αメンバー。日本シベリウス協会理事。

公式サイト <http://www.madokasato.com>

杉並公会堂

〒167-0043 東京都杉並区上荻 1-23-15

TEL: 03-3220-0401

HP: <http://www.suginamikoukaidou.com/>

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
※就学前のお子様の客席への入場、同伴はご遠慮ください。

